

02 地域とコミ協の現状把握

これから地域活動を考えるためのステップ

地域活動を見直し、必要な取り組みやしくみを考えるにはどのようなステップで進めたらいいのでしょうか？
令和元年から2年程度まで実施した「地域コミュニケーション協議会育成モデル事業（以下、モデル事業）」の事例を用いて紹介します。

ステップ① 地域の将来に備える共・通認識づくり



現在、コミ協活動にかけている時間と人数、内容や成果を「見える化」します。負担軽減と必要な活動を行う体制の見直し、内容の向上に生かします。

ステップ③ 住民の想いやニーズを把握する



住民が地域や地域活動についてどう考え、何を求めているのかを把握し、必要な活動を判断します。中学生以上住民アンケートなど、幅広い世代の声を聞くことが大切です。
各ステップごとに必ず対話をを行い、将来に向けた取り組みやくみの案を考えます。

ステップ① 地域の将来に備える共通認識づくり

地域はこの先どうなるのか…？ 将来の姿を明らかにして共有することで、活動の方向性が描きやすくなります。
まずは勉強会で意見交換を行いましょう。



小合コミ協

ステップ② 活動の現状を洗い出し、手の打ちどころを探る



活動を洗い出します。下記の「棚卸し表」などを自分たちでアレンジしても良いでしょう。洗い出し後に、関係者で出された情報を見渡して改善するポイント（＝手の打ちどころ）を探ります。

活動の量を洗い出す場合

check!

棚卸し表を活用

月ごとの活動回数と時間

表の説明：各月の活動回数と時間

月	回数	時間
4月	1	企画から準備、開催、報告など事後作業まで、かけている人頭と時間を記入。具体的な作業内容を記入するとわかりやすいです。記入後は年間を通して作業が集中する時期はないか、特定の人への偏りがないかなどを確認しましょう。
5月	1	
6月	1	
7月	1	
8月	1	
9月	1	
10月	1	
11月	1	
12月	1	

check!

棚卸し表を活用

小合コミ協棚卸し表

棚卸し表の説明：各月の活動回数と時間

月	回数	時間	小合コミ協会員	既へん略	年間合計
4月	45	80	10	10	360
5月	11	20	15	15	320
6月	11	25	15	15	330
7月	12	20	15	15	300
8月	10	15	15	15	285
9月	10	15	15	15	270
10月	10	15	15	15	265
11月	10	15	15	15	260
12月	10	15	15	15	255

check!

棚卸し表を活用

年間活動時間

表の説明：活動ごとにかけている時間を集計。どれだけの時間がかかります。

月	回数	時間	年間合計
4月	1	20	20
5月	1	15	15
6月	1	20	20
7月	1	15	15
8月	1	20	20
9月	1	15	15
10月	1	20	20
11月	1	15	15
12月	1	20	20

check!

棚卸し表を活用

事業・会議名等

表の説明：会合や会議の件数

月	回数	件数
4月	1	10
5月	1	10
6月	1	10
7月	1	10
8月	1	10
9月	1	10
10月	1	10
11月	1	10
12月	1	10

check!

棚卸し表を活用

小合コミ協では、事業を行うためにどのくらいの時間を見度してあります。これがどのくらいの時間と費用をかけているのかがわかります。

役員が担当する任務や出席する会議、部会が担当する活動名を記入。地域内の主な活動も併せて作成すると、地域全体で課題に対応できているか確認でき、実施団体との役割分担の見直しができます。

資料や地域活動の予定を記載した地域のカレンダー作成などに活用してください。

やってみました！

小合コミ協では、事業を行うためにどのくらいの時間と費用をかけましたとあります。

※1 地域カルテ-兼満場では、中学校区段での登録者数人口、健診データ、公衆衛生の配置等をまとめた地域カルテを作成しました。市ホームページに掲載されています。